

第113期 株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日(中間期)

株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

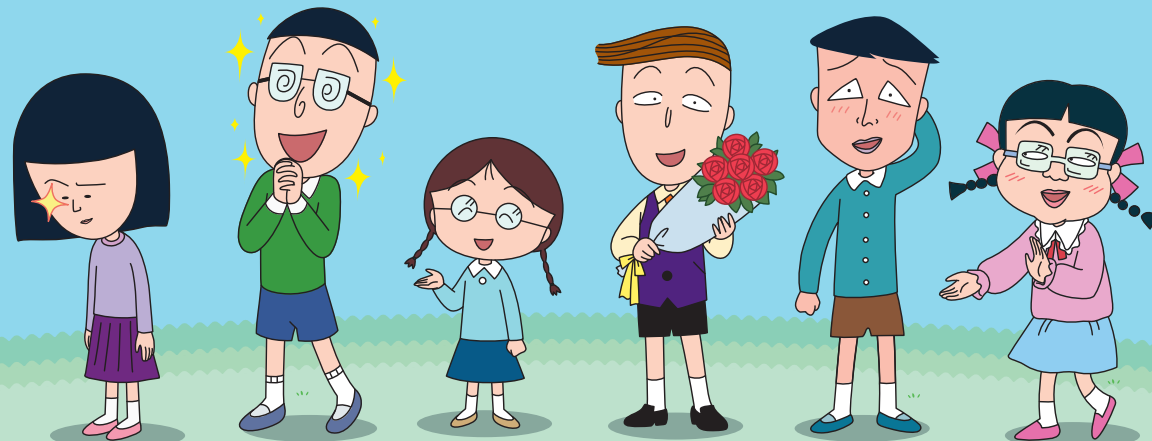
mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

- 本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。



ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション/日本アニメーション

「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中!



感動を、次々と。

Every Day, Special!



ミツウロコグループの事業領域

エネルギー事業

LPガスを中心に、石油製品、住宅設備機器、通信サービス“ミツウロコ光”、太陽光発電システムなどのインフラ事業を展開しています。

電力事業

風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、地球環境改善・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。

フーズ事業

清涼飲料水の製造・販売、施設内販売およびカフェテリア、バーガーレストランチェーン、ポランタリーチェーンストア、スクラッチペーカリー・カフェの運営等を手掛けています。

リビング&ウェルネス事業

オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸や、リビング&ウェルネスをテーマとした商業施設の運営を行っております。

その他事業

事務用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業、海外事業などを行っております。

DATAで見るミツウロコグループ

売上高

2,264億円 第112期連結
2020年4月1日～2021年3月31日

経常利益

60億円 第112期連結
2020年4月1日～2021年3月31日

設立

1926年(創業1886年)

従業員数

1,601名 2021年9月末

エネルギー事業店舗数

74店舗 2021年9月末

フーズ事業店舗数

217店舗 2021年9月末

再生可能エネルギー発電量／年間

2億5千万kWh

LPガス供給軒数

約80万軒 2021年9月末



国内外の多様な環境変化に即応しつつ、
持続可能な事業体制の構築と
地域に密着した
安全・安心なサービスの拡充に努め、
お客様に新たな価値を提供してまいります

代表取締役社長 グループCEO
田島 晃平

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞や個人消費の低迷等の厳しい状況で推移しました。足下では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種によって回復への期待が高まっているものの、緊急事態宣言

の延長などにより、経済・社会活動の回復は鈍化し、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境においては、電力・ガス自由化以降、脱炭素化、分散化、デジタル化という流れの中で、エネルギー市場の垣根を越えた総合エネルギー市場が創出

され、AI・IoT等の革新的な技術の導入や事業者間の活発な競争、異なるサービスの融合などのイノベーションの創発を通じ、エネルギー選択の自由度拡大や料金の最大限の抑制等、消費者の利便性の向上が進展しております。

一方で、世界規模でのCO₂削減取組強化・脱炭素化の要請や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた宣言、自然災害の頻発化・激甚化に伴うエネルギー安定供給のためのインフラ強靱化の要請の高まりに加え、国際的な需給構造の変化、少子高齢化や人口減少による需要変化、そして新型コロナウイルス感染症に伴う生活様式の変化等、エネルギー事業を取り巻く構造的環境は大きくかつ急激に変化しており、国内外の多様な環境変化に即応した対応が求められております。

このような状況下、当社はアジアにおけるセルフストレージ事業に参入すべく、当社の連結子会社であるTRIFORCE INVESTMENTS PTE. LTD.がSingapore Post Limitedの子会社であるSingPost Investments Pte. Ltd. との間で同社の保有するGeneral Storage Company Pte. Ltd.（以下「GSC社」）の全発行済株式を譲り受ける契約を、2021年9月に締結しました。当社グループは、GSC社を傘下におくことで、独自の付加価値をもつセルフストレージや倉庫保管、オフィスのレンタルサービスをアジア太平洋地域の地域社会や企業に提供し、アジアでのマーケットシェアの拡大を図ってまいります。

国内においては、当社連結子会社である株式会社ミツウロコビバレッジを通じて、2021年11月に静岡ジェイエイフーズ株式会社の株式を100%取得（子会社化）いたしました。本件により清涼飲料水の生産能力を獲得することで、約3,000

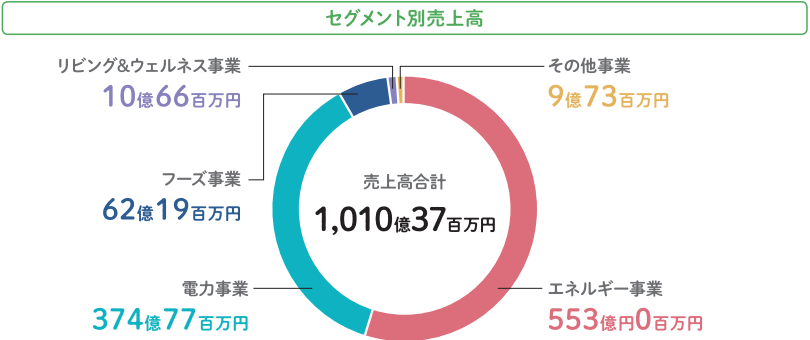
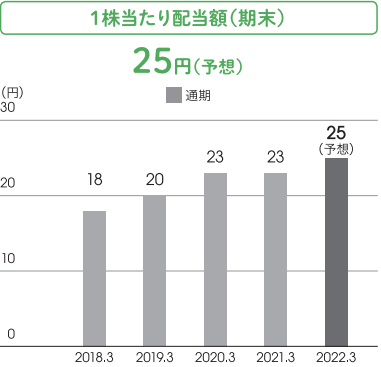
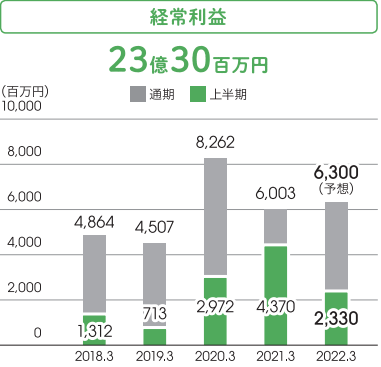
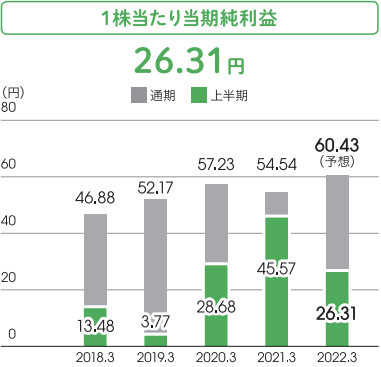
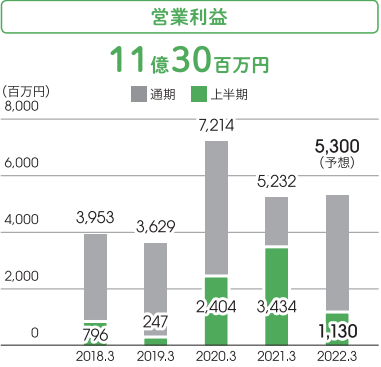
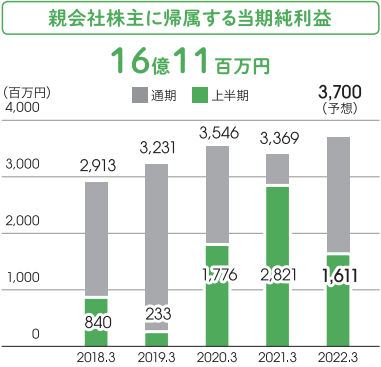
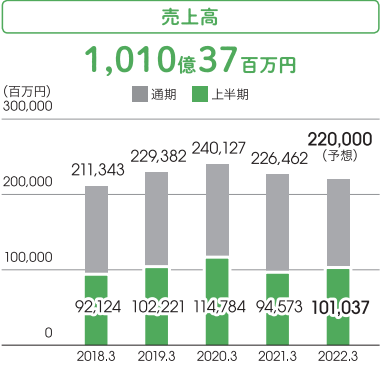
億円規模と言われているミネラルウォーター市場から約3.8兆円を誇る清涼飲料市場へ参入し、あらたな事業分野において一層の事業規模拡大を図ってまいります。また、引き続き堅実な事業基盤のもと、地域に根差したグループの総合力を活かし、地域の安定供給を担う主体として、有事にも対応可能な供給インフラの維持と整備を図るとともに、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行っております。

当社はこれからも、平時有事を問わず、あらゆる状況変化の中でも持続可能なエネルギーサプライチェーンの構築と地域に密着した安全で安心なサービスの拡充に努め、お客様に新たな価値を提供してまいります。

当第2四半期連結累計期間は、エネルギー事業における燃料価格の上昇および電力事業における電力仕入調達価格の上昇等により、売上高は前年同期比6.8%増の1,010億37百万円、営業利益は前年同期比67.1%減の11億30百万円、経常利益は前年同期比46.7%減の23億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比42.9%減の16億11百万円となりました。

また、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を当期から適用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億89百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億96百万円減少しております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



TOPICS

General Storage Company社の株式譲受に関する契約締結

当社グループは、2021年9月2日付で、General Storage Company Pte.Ltd.(以下「GSC社」)の全発行済株式を譲り受ける契約を締結しました。

2010年に設立されたGSC社は、シンガポールやマレーシア、香港で合計18拠点を運営し、Lock+Storeブランドのもと、アジア最大のセルフストレージ事業会社の一つとして成長してきました。また、倉庫保管サービスやオフィスのレンタルサービスも取り扱っています。

当社グループは、GSC社を傘下におくことで、独自の付加価値をもつセルフストレージや倉庫保管、オフィスのレンタルサービスをアジア太平洋地域の地域社会や企業に提供し、世界経済の構造変化の最前線に立つことを目指しています。



静岡ジェイエイフーズ株式会社の株式取得

静岡ジェイエイフーズは、「作って安全、任せて安心の物づくり」を経営理念に掲げ、長年培われた製品開発力と徹底した品質管理体制により、大手飲料メーカーからの各種清涼飲料水の受託製造を軸に、静岡県の特産品である、みかんと緑茶を活用した清涼飲料水「ちゃレンジ」を開発・販売する等、地元と密接に連携した事業を展開しています。

今回の株式取得により、ミツウロコビバレッジの販売チャンネルと静岡ジェイエイフーズの高い受託生産能力を融合し最大

限活用することで、既存のフーズ事業や当社の他分野事業との連携によるシナジー効果が期待できます。

また、約3,000億円規模と言われているミネラルウォーター市場から約3.8兆円を誇る清涼飲料市場へ参入し、あらたな事業分野において一層の事業規模拡大を図ってまいります。

当社グループはこれからも「豊かなくらしのにないて」として、お客様と社会に貢献する企業グループを目指してまいります。

事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービスを中心に豊かにくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フーズ事業」、「リビング&ウェルネス事業」、事務機器などのリースや業務サポート、保険の取り扱いを行う「その他事業」を展開しております。

※当期より、従来は「その他事業」に含めておりました煉炭・豆炭等の販売事業を「エネルギー事業」に変更しております。
なお、前年上半期の数値は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものです。

エネルギー事業



売上高

553億0百万円

前年同期比 23.1% 増▲

営業利益

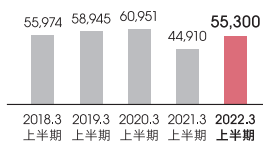
1億78百万円

前年同期比 79.8% 減▼

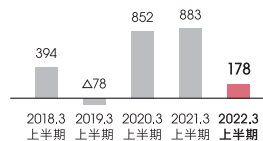
当上半期のポイント

- 業務用・工業用の需要は回復傾向、巣ごもり需要の落ち着きにより家庭用数量が減少。
- 会計基準の変更および燃料価格の上昇により営業利益は減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



電力事業



売上高

374億77百万円

前年同期比 9.8% 減▼

営業利益

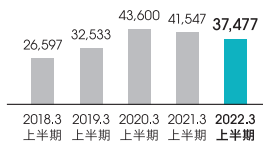
12億16百万円

前年同期比 55.6% 減▼

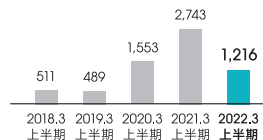
当上半期のポイント

- コスト削減の希求から、電力の単位使用料は低減したものの電力契約数が増加。
- 会計基準の変更および電力仕入調達価格の上昇により営業利益は減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



フーズ事業



売上高

62億19百万円

前年同期比 6.8% 増▲

営業利益

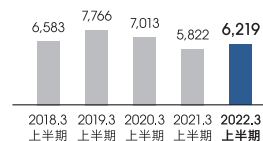
53百万円

前年同期は28百万円の営業損失

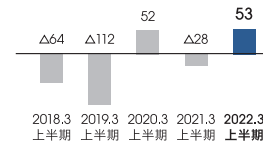
当上半期のポイント

- 需要家からの注文が回復傾向にあり、飲料水事業の販路拡大が好調に推移。売上・営業利益ともに増加。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



リビング&ウェルネス事業



売上高

10億66百万円

前年同期比 0.7% 増▲

営業利益

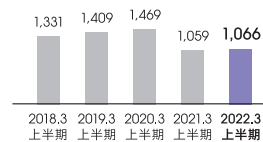
1億78百万円

前年同期比 22.2% 減▼

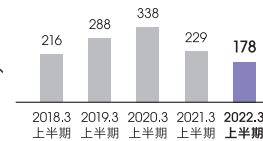
当上半期のポイント

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、SPA EAS、ハマボールについて営業自粛を行ったため、営業利益は減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



その他事業



売上高

9億73百万円

前年同期比 21.1% 減▼

営業損失

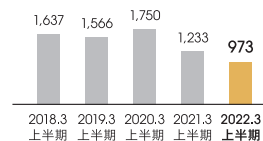
3百万円

前年同期は35百万円の営業利益

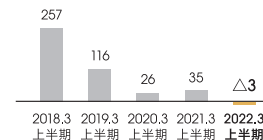
当上半期のポイント

- リース事業における取扱高の減少等により売上高・営業利益ともに減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



「保安なくして販売なし」。 保安確保が最重要使命です。

株式会社ミツウロコヴェッセル
保安統括室 主任
武藤 研志



保安確保は最重要使命

私は現在、株式会社ミツウロコヴェッセル保安統括室でLPガスや危険物の保安管理に従事しています。ミツウロコグループでは「保安なくして販売なし」をスローガンとしており、関係法令の遵守だけでなく、社内基準を設けることで法令以上に徹底した保安管理を行っています。また、お客様にもLPガスの正しい使用方法や災害についての注意喚起や他工事事故やCO（一酸化炭素）中毒事故防止のための特別周知を定期的 to 実施しています。

エネルギー事業者であるミツウロコグループにとって保安確保は最重要使命で、これ以上に大切なことはありません。

地道な指導と確認で保安を守る

私は入社して11年目になりますが、一貫して保安の部署に関わっています。LPガス、灯油販売における保安管理業務が主な業務であり、各支店およびグループ会社の保安責任者と連携し、法令および社内基準遵守、事故・違反の撲滅のための指導を行っています。勉強会や研修会などを定期的に開催し、LP

ガス販売に必須である資格取得推進や資格所有者の知識向上を図っております。ミツウロコヴェッセルは社内で保安の国家資格を取得できる数少ない会社です。保安統括室は群馬県伊勢崎市に「ミツウロコヴェッセル技術研修センター」を運営しており、従業員はこちらで研修を受けて国家資格を取得できるのです。なお、同研修センターはミツウロコグループ以外の方も利用できる施設となっています。また保安レベルの維持・向上のため保安統括室のメンバーが現地小売店を訪問し、法令および社内基準が遵守されているか確認をする「保安検査」を行っております。法令と一口に言っても、ガスだけで高圧ガス保安法、液化石油ガス法、ガス事業法と様々あり、これら全ての内容を把握し基準に適合しているか隅から隅まで確認しなければなりません。グループ内小売店だけで約80店舗あり、これら全てを訪問し書類のチェックをしています。簡単な仕事ではありませんが、保安のための責任を感じながら遂行しています。

お客様の安全のために

LPガスによる事故内容として「漏えい、火災・爆発、CO中毒・酸欠」が挙げられます。LPガスは大気中に漏れると火災・爆発の危険性があるため、漏えいするだけで事故と認定されます。漏えい事故の内、被害が大きくなる危険性が高いのがCO中毒事故です。COは無色、無臭、透明でごく少量でも人体に影響を及ぼします。特に業務用施設で発生した

場合は多くの従業員やお客様が中毒を起こしてしまう可能性があり、重大な事故に繋がります。

安全装置の付いていないガス機器を使用しているお客様に対し定期的に安全周知および対象機器の交換促進を行い、業務用厨房等に対しては業務用換気警報器の設置推進を行うなど安全管理の徹底による事故撲滅を図っております。

保安確保の仕組みづくり

今般の新型コロナウイルス感染拡大のような感染症対策としても役立つよう、事業継続マネジメント(BCM)の策定および災害対応マニュアルの一新を行いました。災害時に社員全員が連携をとり迅速な対応をすることでお客様の安全をいち早く確保するとともに、なにより社員の命を守ることに繋がります。

保安確保はエネルギー事業者の最重要使命であり、経営トップが直接関与すべき重要事項であると認識し、マネジメント体制を整備しています。安全の確保に向けて保安統括部署を社長直轄に置き、トップダウンの指揮命令を迅速・確実に行えるようにしています。

これからも、「保安なくして販売なし」を胸に、無事故・無違反の遂行、特に当社起因による事故は絶対に起こさないよう日々尽力していきます。

2

監査から経理への転身 会計とビジネスのプロを目指す

株式会社ミツウロコグループホールディングス
ファイナンス&コントロールセンター 担当課長
権田 弘行



ワークライフバランスが充実していて とても働きやすい職場です

私は監査法人で働いていましたが、チェックする側でなく、作成する側になることに魅力を感じ、5年前にミツウロコグループへと転職しました。経理の仕事に就いてからは、様々な場面で自ら作成することで得られるやりがいを感じる事ができています。監査法人は人の入れ替わりが激しく、急な仕事が入ることもあり、そうかと思えば急に暇になるなど、オンオフのメリハリをつけることが難しい職場でした。当社

も決算期は忙しいですが落ち着いている時期もあるので、休暇が取得しやすくワークライフバランスも充実しています。コロナ禍で在宅勤務にシフトし、通勤がなくなった分、家族と過ごす時間も増えました。それが仕事を頑張る意欲にも繋がっていると感じていて、オンオフの良いサイクルができています。

私が所属している経理担当部門は専門的なスキルをもつ担当者も多いことからメンバーの異動も少なく、お互いのことをよく理解あっています。上司や部下、同僚とのコミュニ

ケーションも円滑で、困ったら何でも相談に乗ってくれますし、大変なときは快く手伝ってくれます。直属の上司だけでなく副部長やCFOとも頻繁に会話する機会があり、何でも言い合える間柄になっています。特にCFO自身がグループ内のいろいろな人とコミュニケーションをとっているため、良い組織風土が浸透しているのだと思います。私も立場上、営業サイドや子会社の方々とも連絡をとることが多いのですが、協力的な人ばかりで仕事はとてもしやすいです。部署間で隔たりがあるという話も聞いたこともないですし、会社全体が一つのチームとなっています。

当社はグループ会社が多く連結決算がかなり複雑です。経理には特別な知識や会計スキルが求められるため、中途採用者が多く会計士や税理士などの専門家が集まっています。ワークライフバランスが充実しており、女性も働きやすい環境にあるので、プロフェッショナル人財の定着率もかなり高いと感じています。

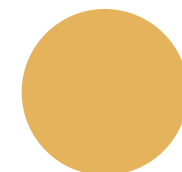
常に挑戦できる環境があり、 成長し続けることができます

転職した当初は連結決算を担当しましたが、次第に企業買収のサポートなどの業務も任せられるようになりました。上司が私の成長度合いを確認しながら実力に応じて段階的に高度な仕事を割り当ててくださるので、常に挑戦をし、

成長することができています。最近是不動産事業や商業施設の運営に関して数字以外のことも検討する機会が増えていきます。ビジネスに対する興味も深まり、数字と絡めながら自分の意見も提案できるようになってきました。会計のプロであるだけでなく、ビジネスのプロという付加価値がついてきていると実感しています。

あえて課題を挙げるとすれば、ノウハウの蓄積やフォーマット化ができていない点です。例えば企業買収を検討する際に決まった形式がなく、各個人の経験に基づく部分に頼りがちです。私は過去にデューデリジェンスやバリュエーションを経験しましたので、今の業務でその精度を高めています。交渉の段階で流れてしまった案件もありますが、そこから学んだことを活かして成功案件を増やしています。いずれはそのノウハウをフォーマット化し、内製化を進めていきたいと考えています。

ミツウロコグループは今後積極的に海外事業のウエイトを増やし、グローバル企業となっていくでしょう。私も海外の方たちとコミュニケーションをとり、内外の橋渡しができればと思っています。



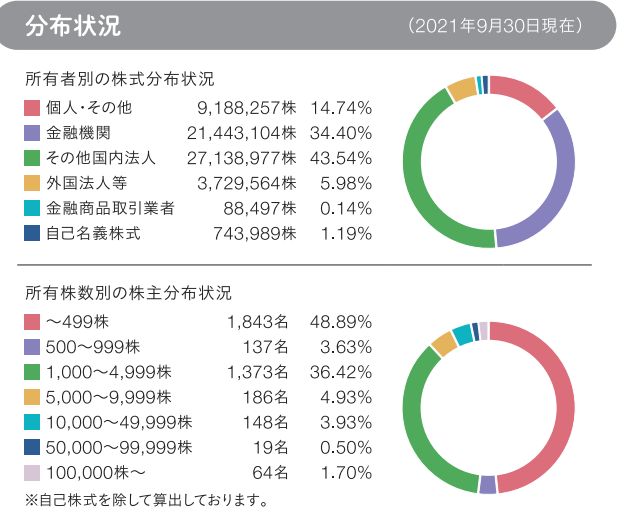
会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	28名／連結：1,601名（2021年9月30日現在）

役 員		（2021年9月30日現在）
代表取締役社長 グループCEO		田島 晃平
取締役		二見 敦
取締役 グループCFO、グループCAO		児島和洋
取締役		坂西 学
取締役		川上 順
取締役		大森基靖
取締役 グループCTO、グループCIO		ゴ ウィミン
取締役（社外）		柳澤勝久
取締役（社外）（独立）		松井 香
監査等委員である取締役（社外）（独立）		菅原英雄
監査等委員である取締役（社外）（独立）		河野義之
監査等委員である取締役（社外）		田嶋 圭

株式の状況		（2021年9月30日現在）
発行可能株式総数		197,735,000株
発行済株式の総数		62,332,388株
株主数		3,771名

上位株主			（2021年9月30日現在）
株主名	持株数（株）	持株比率（％）	
ENEOSホールディングス株式会社	5,064,040	8.22	
明治安田生命保険相互会社	4,990,000	8.10	
田島株式会社	4,327,000	7.03	
損害保険ジャパン株式会社	3,681,173	5.98	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,380,800	5.49	
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口	3,074,000	4.99	
リンナイ株式会社	2,682,464	4.36	
橋本産業株式会社	1,926,500	3.13	
全国ミツウロコ会持株会	1,721,884	2.80	
株式会社パロマ	1,685,124	2.74	

（注）1.当社は自己株式を743,989株（株式給付信託（BBT）に関する 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社の株式267,900株を除く）保有しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託（BBT）に関する株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式からは除外しております（当連結会計年度末267,900株）。



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（https://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先		
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）	
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取および買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。	
	証券会社	証券会社等
	に口座をお持ちの場合	に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いきませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店、みずほ銀行 本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）	
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。